

グリーンをテーマに、マレーシアを巻き込んで

BIOTECHWORKS-H2となら本気で

—— BIOTECHWORKS-H2 代表・西川氏との出会いから現在

2014年か2015年やまぎんがOEMをやっていた頃です。すぐに商売には繋がらなかったけれど印象的でした。コロナの時に再び連絡をもらい、いろんな話を交えながら医療用ガウンの話を持ちかけられました。世の中が変化するときフレキシブルに対応する行動力に魅力を感じ、正直できるかわからない状況でしたが、興味ある！やってみたいと思いスタートしました。

—— 西川氏との初めてのタッグ

100回洗えるものを作ると言われた時、そもそも50回洗うだけでも検証するのに日数かかるのに大丈夫かなという気持ちでした。しかし話はどんどん膨らみ、業界の有名人に会ったり、「この人ほんとにやってしまうんじゃないか」と、愚直にも言われたことをやってみようと思いました。某大手企業のタグがほしいという人はたくさんいますが、そうではなく、洗えるガウンから、今度はプロモーション方法を新たに考案をし、ブランドとしてZERO-TEXを育てていく。そのブランディング力はすごいと関心しました。ブランド化した後も弊社と一緒にやろうと言ってくれたのは嬉しかったです。じゃあ一緒にやりましょうってなりますよ。

—— BIOTECHWORKS-H2の話が上がったとき

今度は急に水素の話が出てきて、え？大丈夫かなと最初は心配になりました。我々もマレーシアペナン州のペットボトル回収活動をはじめとした様々な環境問題に早くから取り組み、グリーンをテーマにずっとやってきた会社なので

BIOTECHWORKS-H2にとっても興味を持ちました。

—— BIOTECHWORKS-H2との目標

BIOTECHWORKS-H2と一緒に、マレーシアでペナン州政府と動けると本気で考えています。今も、次にマレーシアを訪れる時に話ができるように進めています。そのくらい本気でまた大きなことをやろうと思っています。西川さんと仕事をすると面白い。夢があるし、一緒に仕事をしていてワクワクします。

—— 今までを振り返って

コロナの時はわらをもすがる勢いでしたが、ZERO-TEXの時は本当にワクワクしました。そこから水素の話聞いた時はまた一瞬ひやっとしましたが、西川さんとは仕事をしているという感覚より、ロマン×仕事という感覚で友として何かあったら止めなければという気持ちでいつも向き合っています。調子がいいときだけ群がって来る人は山ほどいます。でも私はうまくいく、いかない関係なくやってみようという感じです。お互い「あかん」と思ったら止めないといけないけれど、いつも想像を超えてきて、常に驚きをあたえてくれます。

マレーシアを拠点に世界基準で戦う東レグループPENFABRICプロフェッショナルチームのトップ。誰もが認めるリーダーシップと温厚な人柄が魅力。あらゆるチャンスをつかみチャレンジし続けるビジネスコンダクター



PRIDE OF PENANG RE-BORN with Advanced and Diversified Materials.

PENFABRIC SDN BERHAD

副社長

西村 友伸さん